

地方自治体の効果的なPR方法とは

シンガポール事務所

クレアシンガポール事務所は、UCLG ASPAC の招待により 12 月 11 日（金）、12 日（土）にスリランカで開催された UCLG ASPAC 会議に出席し、日本の地方公務員の研修制度やクレアの事業について紹介しました。

1 UCLG ASPAC とは

UCLG ASPAC (United Cities and Local Governments Asia Pacific) は、地方自治体の相互の協力や国際社会の地方自治体関連組織との連携を通じて地方自治体の価値観、目的、共益を追求することを使命として組織された団体である UCLG のアジア・太平洋地域支部です。地方自治体会員、国際地方自治体組織会員、準会員に会員区分されており、日本では、静岡市と浜松市が地方自治体会員、クレアが国際地方自治体組織会員として参加しています。

2 評価されたプレゼンテーション

今回の会議は、持続可能な地方経済の発展に向けた地方自治体のための研修や南アジアと南西アジア地域の連携を目的として行われました。

9月5日にインドネシアで開催された UCLG ASPAC 会議におけるクレアシンガポール事務所職員による日本の地方自治体の政策についてのプレゼンテーションが高い評価を受け、UCLG ASPAC から今回の会議で日本の地方公務員の研修制度やクレアの事業について紹介してほしい旨の要請を受けて参加しました。



所長による事業紹介の様子

橋本所長が、地方公務員法にもとづく民主的、効率的を原則とする日本の地方公務員の研修制度や、クレアが実施している海外の自治体の技術力の向上や日本と海外の自治体の友好協力関係の推進を目的とした「自治体国際協力専門家派遣事業」などについて紹介する場面では、参加者は熱心に耳を傾けていました。

3 国際会議参加による効果

UCLG ASPAC 事務局からは、多くの日本の地方自治体が会議に参加して日本の地方自治体の政策など紹介し、海外の地方自治体と友好協力関係を築いてほしい旨の意見がありました。

海外の地方自治体の代表者が出席する国際会議へ参加しプレゼンテーションや意

見交換を行うことで、効果的な日本の地方自治体のPRに繋がります。このため当事務所としては、優れた実績を持つ日本の地方自治体の国際会議への参加を積極的に支援していきたいと考えています。

(梅澤所長補佐 長崎市派遣)

